

ESGの課題から考える企業の持続的成長戦略

最近、新聞やニュースでしばしば見かける「ESG」。ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、コーポレートガバナンス(Governance)の頭文字の組み合わせを意味します。元々は投資に関する用語で、機関投資家が企業を評価する際に、売上高や利益だけでなく、環境問題、社会問題および企業統治に関連する問題(ESG課題)に対する取り組み状況を含めるべきであるとする考え方です。現在では、ESG課題に着目する機関投資家の増加に応じ、その課題に前向きに取り組む企業が増えています。

木材産業にとっても、ESG課題に対する関心を高める機関投資家の動きは重要です。ESG課題への対応を考える際、木材産業にとって有利な側面は、木材利用の拡大が地球温暖化防止(E)に貢献している事実が科学的に既に明らかになっている点です。しかし、現時点では木材産業全体として、そのような潜在的な優位性を十分に生かしきれておらず、他産業と比べて遅れをとっています。

そこで、7月の月例研究会ではこの「ESG」をテーマとして取り上げます。ESGがなぜ今、機関投資家および企業の事業活動に多大な影響を与えるようになったか、その背景と現状について学びとともに、木材産業各社がESG課題を視野に入れた新たな事業戦略を検討する上でのヒントを得る場として、本講演を企画しました。

講師として、日本経済新聞社グループの一員である株式会社QUICK ESG研究所プリンシパルの松川恵美氏をお招きします。松川氏は、多くの金融および経済関係のメディア媒体に、ESGに関する有識者として登場しています。また、2017年10月より環境省「環境報告ガイドライン及び環境会計ガイドライン改定に関する検討会」委員を務められている等、環境金融に関するスペシャリストです。

今回は、当研究会の会員企業の皆さまとの意見交換に強い関心をお持ちいただいたことから、講演をお引き受け頂くことになりました。

多くの皆様のご出席をお待ちしております。



- 日 時： 平成30年7月19日(木) 17:30~(受付開始 17:00)
- 場 所： 東京大学農学部 フードサイエンス棟、中島ホール
- 演 題： ESGの課題から考える企業の持続的成長戦略
- 講 師： 松川 恵美氏(株式会社QUICK ESG研究所 プリンシパル)
- 主 催： 木材利用システム研究会
- 共 催： 東京大学 アジア生物資源環境研究センター
- 定 員： 80名(定員になり次第、締め切らせて戴きます)
- 会 場： 東京大学農学部 フードサイエンス棟 中島ホール
場所の詳細は下記ホームページにてご確認ください。
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html
- 参 加 費： 本会会員および共催団体会員は無料、非会員は3,000円
情報交換会は実費(3,000円)を戴きます。会場準備の都合上、申込期限日以降のキャンセルはご容赦戴けますよう、ご協力の程よろしくお願い致します。
- 申込期限： 平成30年7月12日(木)
- 申込方法： ホームページからお申し込みください。(http://www.woodforum.jp)
お問い合わせはメールにてお願いいたします。

木材利用システム研究会事務局：(高橋、長坂、後藤)
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7号館B棟 438室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506
FAX：03-5841-0915
メール: info@woodforum.jp

